

2016年3月期 中間決算説明会 質疑応答概要

- Q1. 説明資料中に「規制動向、利益成長や内部留保の充実などにより、追加的な株主還元策の実施も検討」とあるが、具体的にはどのような規制を想定しているのか。また、追加的な還元策について、想定しているタイミングや手段は何か。
- A1. 規制については、①銀行勘定で保有する金利リスクへの規制強化、②国債のリスクウェイト見直し、③レバレッジ比率規制の動向等が当行への影響の大きいもの、と捉えている。これらを含め規制強化には目を光らせ、しっかりと対応したい。追加的な株主還元が可能となるタイミングについては、これらの規制対応に加え、当行の業績や市場動向を踏まえて判断したいと考えている。現状はそのような状況ではないため、具体的な追加還元策は検討していないが、もし行うとすれば、幾つかの選択肢があると考えている。
- Q2. 為替ヘッジのスワップコストが上昇しているが、サテライト・ポートフォリオでの外債運用を拡大する方針に変化はないか。
- A2. 足元、為替のヘッジコストは上昇しているものの、比較的高い利回りの外債も購入していることから、依然としてスプレッドを確保している。また、スワップ以外の手段も活用しており、「2017年度末にサテライト・ポートフォリオの残高を60兆円に拡大させる」という中期経営計画も達成可能と考えている。今後とも市場動向等を鑑み、状況に応じて対処したい。
- Q3. ゆうちょ銀行では有価証券の運用が極めて重要であるため、含み損益の開示を検討してほしい。
- A3. 2015年9月末時点の含み益（ヘッジ考慮後）は、約6兆円であり、内訳は満期保有目的の債券の含み益が約2兆円、株式の含み益が約1兆円、為替の含み益が約1兆円、その他の債券等の含み益が約2兆円である。開示のあり方については、ご要望、ご意見を伺いながら検討していきたい。
- Q4. ベース・ポートフォリオ、サテライト・ポートフォリオ別の含み益の状況は。また、この含み益をどのように実現するのか。
- A4. 約6兆円の含み益のうち、満期保有目的の債券の含み益約2兆円は基本的にベース・ポートフォリオに属する。残りの約4兆円の中の約1.4兆円は、国内債券に関するものであり、一部を除いて大半がベース・ポートフォリオに属する。その他は株式と外国証券に関する含み益であり、サテライト・ポートフォリオに属する。市場に対する見方に特段の変化が無い限り、債券は満期までの保有を前提としており、為替の含み

益は、償還時に実現する方針である。株式については、市場の動向の見通しにより、売却することも買い増すことも考えられる。

Q5. 2015 年度上期の役務取引等利益は前年同期比で 24 億円増加したが、どのように評価しているか。また、どのような課題があると考えているか。

A5. 「2017 年度までに役務取引等利益を 100 億円積み増す」という中期経営計画上の第 1 半期として、十分手ごたえがあった、と評価している。その一方、投信業務などには未だ伸びる余地がある、とも考えている。当行は他行と異なり、融資業務やトレーディング業務に関連した手数料収入が無い。このようなハンディキャップがある中、「貯蓄から投資」という流れに係る手数料収入に注力し、現状に満足せず、出来る限り役務取引等利益を増やそうと腐心している。

Q6. 国内外の金融機関での経営を担ってきた長門社長が考える、ゆうちょ銀行の強み・弱みとは何か。

A6. 先ず、「融資業務を行っていない」という点が当行の特徴として挙げられる。相対融資は、相対的には大きめのマージンが取れ得るが、そこが無いのが 1 つ特徴となっている。業務の範囲が限られている当行としては、我々が自由に行える手数料収入の分野に徹底的に集中し、将来の強みとしたいと考えている。また、副社長の佐護を迎えるなど、サテライト・ポートフォリオ運用の態勢を強化し、世界で有数の機関投資家となり、この分野も将来の強みとしたい。

Q7. 「2017 年度末にサテライト・ポートフォリオの残高を 60 兆円に拡大させる」という中期経営計画の「60 兆円」という数字は上限なのか。また、どのような点が残高増加の制約、若しくは加速材料となるか。

A7. 「60 兆円」という数字は上限ではないと考えており、既に 60 兆円の実現に向け、やや前倒しで進んでいると理解している。しかしながら、マーケットでのアロケーション、需給の面や、保有している債券の償還等を勘案すると、現状を超えるペースで残高を増やし続けることには、相応の困難さが伴うと考える。今後もチャンスがあれば、より積極的に量の面でもサテライト・ポートフォリオ投資を増やしていきたいが、一方で、慎重に投資物件を見きわめることも重要であり、やはり相応の時間は必要と考えている。

以 上